

第5回 駅まちデザイン検討会 議事概要

日時：令和3年8月2日（月）13:30～15:30
場所：パレスサイドビルディング 8階会議室
（オンライン（ZOOM）&オフライン併用）

1. 開会・挨拶

【都市局街路交通施設課長より挨拶】

2. 議事

（1）第4回検討会において出された意見について

【事務局より資料1に沿って説明】

（2）駅まちデザインの手引き（案）の検討について

①第4回検討会での意見と対応方針

【事務局より資料に沿って説明】

②駅まちデザインの手引き（案）

【事務局より資料に沿って説明】

3. 意見交換

【駅まちデザインの手引き（案）及びパンフレットについて、出席者間において意見交換。】

【駅まちデザインの手引き（案）について】

- 「駅まちデザイン」をTOD（Transit Oriented Development：公共交通指向型開発）を超える概念として海外に向けて発信する際の表現を統一した方が良い。
- ポストコロナ/アフターコロナで、公共交通事業者等のビジネスモデルの変革が起きており、公共交通の存続にも関わるまちづくりやエアリアマネジメントへの注目度は高まっていることにも触れるべきではないか。
- これからの時代に求められる新たな視点として、気候変動への対応や水害対応、防災、情報活用について追記した方が良いのではないか。
- 都市アセットにおけるデータの活用やエアリアマネジメント実施の際、誰がデータを採ってオープンプラットフォームで整理・管理し、誰が利用するかということを整理する必要があるのではないか。
- 駅まちデザインを始めるにあたっては、「駅まちデザイン協議会」のようなプラットフォームを立ち上げる仕組みづくりをする提案をすると良いのではないか。
- 事業化のプロセスとして、市街地整備2.0のように小さな取組（社会実験等）から始めて、徐々に大きな取組へと段階的に進めることを記載してはどうか。

【パンフレットについて】

○パンフレットと手引きの内容をいかに浸透させていくかが重要になってくると考える。これからつくる駅まち空間は従来とは違うものであることを表現するため、手引きの前文「はじめに」をパンフレットにも記載した方が良いのではないか。